



平成27年度

清水町議会

総務文教常任委員会学校訪問

御影小 学校教育目標

みんなで学び
かたをくみあう
げんきな子



「伝統文化一日体験」より

清水町立御影小学校

総務文教常任委員会・学校訪問

平成28年2月10日(水)

1 訪問日程

～13:30 来校

13:30～13:55 授業参観

13:55～14:15 学校経営等の説明

14:15～14:30 意見交換

2 5校時・参観授業の単元

学 年	教 科	単 元
1 年	国 語	かん字のれんしゅう
2 年	生 活	生まれた時のことをしらべよう
3 年	算 数	かけ算
4 年	図 工	自分の顔
5 年	特別活動	6年生を送る会に向けて
6 年	理 科	身の回りの電気



1 経営の姿勢

教育は、子どものもつ無限の可能性が開花していく全過程の営みです。私たち教師は、個々の持つ子どもの良さに気づき、引き出し、伸ばすことを通して子ども達のもつ夢や願いの実現を手助けする大切な役割を担っています。そのために私たち教師は、教育のプロとしての自覚と責任を持ち、互いにの良さを認め合いながら、全学年を全職員が指導する意識にたった教育を組織的に行う学校をつくっていくことが大切です。

また、学校の不易の課題は、未来を担う子ども達に、将来をたくましく生き抜くための「生きる力」を身に付けさせることであり、そのためには「確かな学力・豊かな心・たくましい体」の三拍子そろった子どもの育成が必要です。私たちは、研修の一層の充実に努め、保護者や地域に実践が見える学校をめざすとともに、学校と家庭・地域が連携し、それぞれの教育的機能の発揮と責任のある指導をもとにしながら教育活動を展開していきたいと思いをします。

2 学校の教育目標の具現化

学校の教育目標は、本校の教育活動の指針です。本校で学ぶ子どもたちが、将来、平和で民主的・文化的・国際的な国家の形成者として成長することを願って、「日本国憲法」「教育基本法」「北海道教育の目ざす姿」「十勝教育の目ざす姿」の教育理念、「教育のまち“しみず”の教育」等を基調に、教職員・地域・保護者の共通理解によって本校の教育目標が設置されたものであることを確認したいと思います。その上で、教育目標の具現化を図っていくための具体策が必要です。

(1) 御影小学校の教育目標

みんなで学び **か**たをくみあう **げん**きな子

(2) 具体目標

地域に学び、世界に目を広げ、たくましく生きる子を育てる。

(3) 「石の子」の努力目標と実践指標

児 童 像	具体目標（簡潔に）	標達成のための キーワード
よく考えて 表現できる子	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人が課題をもつ 共に考え、課題解決に取り組む 自信をもって主体的に表現する 	<ul style="list-style-type: none"> 課題もち 考え合い 伝え合い
心豊かで やさしさのある子	<ul style="list-style-type: none"> 広く世界的視野に立って考える やさしさと思いやりをもつ 相手の気持ちや立場を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> 広く見る目 やさしさ 思いやり
自らやりぬく たくましい子	<ul style="list-style-type: none"> 自然や生命を大切にする 自分を鍛える意志をもつ 心身ともに健康で、目標を持って生きる 	<ul style="list-style-type: none"> 自然や生命の力 やる気 チャレンジ

3 今年度の重点

◎ 「子どもの力をのばす7つの取組」の一層の具現化

4 目ざす学校像

(1) 子ども達にとって

- ・ みんなが明るくあいさつを交わし、互いを思いやりながら仲良く過ごせる学校
- ・ 遊びと勉強の区別をつけ、しっかりと学ぶことのできる学校
- ・ みんながけがなく安全に気をつけながら生活することのできる学校

(2) 保護者・地域住民にとって

- ・ 情報の発信・受信がされ、説明責任・結果責任を果たせる内外に開かれた学校
- ・ だれもが気軽に訪れ、地域の教育力が積極的に活かされている学校

(3) 教職員にとって

- ・ 個々の持つ能力や持ち味を存分に発揮することができる学校
- ・ プロ教師としての力量を高めるために日々研鑽し専門性を磨き合える学校

【授業成立のために】

- | | | | | |
|-------------|----------------|-----------|-----------|-------|
| ○ 子どもを知る | つぶやき | 表情 | コミュニケーション | 文章や作品 |
| ○ 子どもと遊ぶ | 興味・関心 | 親近感（距離） | 子どもの目線 | |
| ○ 子どもを好きになる | 笑顔 | 信頼関係 | プラス思考 | |
| ○ こどもを認める | ほめて伸ばす | 小さな成長を見取る | 可能性の伸張 | |
| ○ 子どもと共に育つ | 発言・発表を活かす授業づくり | 共に学ぶ姿勢 | | |

5 教育のまち「しみず」の教育と関連させて

(1) 教育のまち「しみず」の教育の目標



一心をかよわせ、互いに響き合う感性豊かな教育の推進

- 家庭、学校、地域が連携して、しみず「教育の四季」を推進し、「12の窓」から子どもを育てる。
- 教育のまち「しみず」を自負して、教育行政執行方針に照らして真摯な教育を展開する。

(2) 「3つのあ」の運動

- あいさつ
- あとかたづけ
- ありがとう

自分から実践

今年度も、“しみず「教育の四季」”をふまえ、家庭との連携を密にしながら、「3つのあ」の日常化に努めます。保護者にも児童の主体的な取り組みへの適切な指導・支援をお願いしていきます。

(3) しみず「教育の四季」の具現化（御影小教育の四季）

年間目標 『早寝 早起き 朝ご飯』で規則正しい生活を送りましょう

(4) 季節を感じながら

- 春～新たな出会い、ふれあい（あいさつ）
- 夏～自然や人の豊かさに感謝（ありがとう）
- 秋～実り・成長を感じて（あとかたづけ）
- 冬～寒さに負けない心と体（3つの「あ」の定着のとき）

6 経営方針達成のための視点と方策

※ 「子どもの力をのばす7つの取組」を基盤にして

- (1) **本校の特色を活かした、調和のある教育課程の編成・実施・評価・改善**
- 標準授業時数の確保と学習指導要領の内容の確実な実践
 - 「言語活動の充実」を基軸にした学びの推進や体験的な学習の充実（清水町内外の教育素材の発掘と活用，学習ボランティアの有効活用）
 - 豊かな心を育てる「道徳の時間」の授業を中心とした道徳教育の充実
 - 指導と評価の一体化による授業改善（授業内での評価、通知表の見直しなど）
- (2) **確かな学力を育てる個に応じた指導の充実と集団性を活かした教育活動の工夫**
- 「基礎基本の力（学習常規、読み・書き・計算を中心としたドリル，チャレンジテスト等）」の確実な習得のための個に応じた指導（TT・習熟度別指導など）の工夫
 - 読書活動の充実と家庭学習の習慣化（しみず「教育の四季」，手引の積極活用）
 - 特別支援教育への対応と校内支援体制の確立
 - 全学年で行う「外国語活動」の共通理解と授業の相互交流
 - 個の特性を磨く作品作りや各種作品展等への積極的な出品
- (3) **共通理解による児童への共通指導の徹底**
- 「教職員一人ひとりがみんなの担任」という意識の醸成と子どもへの感化
 - ・ 職員会議や朝の打合せ等での生徒指導交流の実施と問題点の共通理解、共通指導
 - 「つく指導」と自主性を育てる指導を組み合わせた児童理解と情報交換、早期対応
 - ・ 朝の会 帰りの会 清掃指導 休み時間・放課後（児童活動）等
- (4) **資質・能力の向上と授業力を高める「開かれた研修」の充実**
- 授業力を磨き合うための相互交流を基軸とした校内共同研究の充実
 - ・ 厳しさや内容のある一人一授業公開の校内授業研（事前研、事後研）の実施
 - ・ 指導主事などの外部講師の効果的な活用
 - 外部講師も含む教職員個々の持ち味や特性を活かした実技研修の充実
 - 資質・能力向上のための積極的な研修会・研究会の参加と還元
- (5) **組織体としての機能を果たす協働実践体制の確立**
- 組織の一員としての自覚と分掌が互いに機能し連携し合う業務の推進
 - 同僚性の醸成（教師間の学び合い、支え合い、互いの声かけ）
 - 互いの意志の疎通と相互協力体制の確立（提案物の事前相談・確認）
- (6) **「報連相」を基軸とした危機管理体制の一層の充実**
- 教頭を窓口とする「報告・連絡・相談」の徹底と早期対応、早期解決
 - ・ 学校事故 交通事故 保護者とのトラブル 不審者情報 不祥事 等
 - ※不審者対策のための『危機管理マニュアル』の共通理解
 - リスク・マネジメントの確立（サービス上、教育指導上、生徒指導上：守秘義務）
 - 情報漏洩を防ぐ校内管理体制の確立
 - ・ データの保管と管理 個人情報漏洩に係る校内体制の整備 保護者への説明
 - 教育公務員としての自覚と信用失墜行為の未然防止（法令・服務規律等の遵守，交通安全の徹底）
- (7) **家庭や地域の教育力の活用と地域に開かれた学校経営の推進**
- 授業参観（地域公開、日曜参観等保護者のニーズに応じた内容の工夫）、寺子屋塾（資料、パワーポイント等）、学級通信、学校便り、校内掲示の内容の充実などを通じた教育情報の積極的な発信・共有と地域・保護者との信頼関係の確立
 - 学校生活を支える家庭生活の在り方の啓発（しみず「教育の四季」を積極活用）
 - 家庭や地域の教育力の教育活動への積極的な活用による教育内容の一層の充実
 - 学校評価等の内容の見直し、学校支援委員の活用と改善
 - ・ 内部評価、保護者アンケート、児童の自己評価，学校関係者評価，行事の感想など
 - 各種調査による学力状況の把握と学力向上改善プランの作成、保護者への説明



学校教育目標

みんなで学び かたをくみあう げんきな子

心豊かでやさしさのある子
広く見る目・やさしさ・思いやり

ともに

よく考えて表現できる子
課題もち・考え合い・伝え合い

自分から

自らやりぬくたくましい子
自然や命・やる気・チャレンジ

ともに学び合い、自分から「あいさつ」「あとかたづけ」「ありがとう」

今年度の重点

子どもの力をのばす7つの取組の一層の具現化

【基本的な生活習慣】



PTA研修会
ネットトラブル
の未然防止

学校長よる
寺子屋塾



【学習規律の確立】



すてきノート紹介

【環境の工夫】



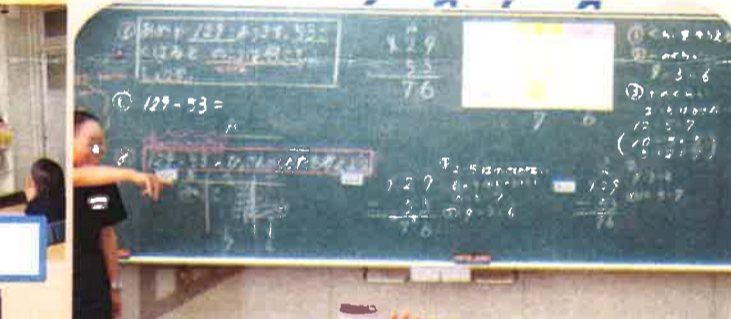
【学びの力を育てる授業づくり】【自主的・主体的な学び】



発表の工夫



外国語活動



板書の工夫



自主研修で満足 修学旅行



学びの場の工夫(個別・グループ)



酪農体験



バイオリン体験



そば学習



書写ボランティア



児童会館宿泊学習

【心を育てる教育活動】



一年生を迎える会



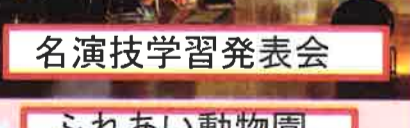
意見発表会



名演技学習発表会



リンゴ狩り



ふれあい動物園



全校合唱



スクールファーム



ヒート掘り体験



盲導犬体験

【たくましい体を育てる教育活動】



堂々と応援合戦



ぴよんぴよんワールド



御影芽室ゴミ拾い遠足



プール祭り



学校教育目標

みんなで学び かたをくみあう げんきな子

心豊かでやさしさのある子
広く見る目・やさしさ・思いやり

ともに

よく考えて表現できる子
課題をもち・考え合い・伝え合い

自分から

自らやりぬくたくましい子
自然や命・やる気・チャレンジ

ともに学び合い、自分から「あいさつ」「あとかたづけ」「ありがとう」

今年度の重点

子どもの力をのばす7つの取組の一層の具現化

【基本的な生活習慣】

- ・「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣化
- ・あいさつ・あとかたづけ・ありがとう
(家庭、地域、学校、お客さんに)
- ・「時間を守る」「時間の使い方を工夫する」子どもに
- ・寺子屋塾の活用

【学習規律の確立】

- ・「チャイム、着席、準備」の徹底
- ・机上(教科書は左、ノートは右、筆記用具は必要なものだけを用意など)
- ・話し方、聞き方、学び方の定着
- ・集中力育成 → むだ話を無くす
- ・「はじめ」ある学習態度の育成
- ・忘れ物をなくす工夫

【環境の工夫】

- ・学習のきまりや約束事の教室掲示
- ・子どもへの定着を促す学習内容のまとめの掲示
- ・子どもの活動の姿が見える掲示や展示の工夫・掲示物の定期的な交換
- ・地域の教育素材の発掘と有効活用
- ・異校種間連携

【学びの力を育てる授業づくり】

- ・事前準備と発問の吟味(教師の発言量と児童の発言量のバランス)
- ・実物投影機やパソコン等の教育機器の活用・授業形態の工夫(個、ペア、グループ、一斉の使い分け)
- ・「ノート使用のきまり」の活用(分かりやすい板書構造、子ども自身の考えや感想が書き込まれるノートへ)
- ・子どものニーズに応じた指導の充実(特別支援教育の充実、ITの活用等)
- ☆ 導入時
 - ・子どもの興味・関心を引き出す工夫
 - ・何をどのように学ぶかの見通しを持たせる
- ☆ まとめ時
 - ・学習の振り返りの時間の設定
 - ・授業の最後のミニまとめや「ラストチャレンジ」で定着度チェック

【自主的・主体的な学び】

- ・朝の自習(ドリル、チャレンジテスト、読書など) → 静かに、集中して)
- ・読書の取組と保護者への呼びかけ
みかげ読書週間: 毎月19日を含む週)
- ・バス通生の放課後などの学習
- ・学習習慣の確立(宿題・家庭学習)
(学年×10分+10分程度の学習時間)

【心を育てる教育活動】

- ・「道徳」の時間の充実
(「わたしたちの道徳」の活用など)
- ・「子どものいいところ」を探し、認め、励まし、自信をもたせる指導を
- ・校内生活のきまりを守る子どもに
(問題行動への迅速な対応)
- ・「はじめ」を許さない子どもに
- ・心に響く教育活動の場の設定
(全校合唱・石の子フェスティバル等)

【たくましい体を育てる教育活動】

- ・体を動かす場の広がり
(児童会の全校遊び、各学級の取組)
- ・体育の時間の工夫
(運動への苦手意識をもっている子への配慮、新体カテストの活用)
- ・安全・安心の取組(交通安全指導の徹底、避難訓練、不審者対策等)

しみず「教育の四季」御小版

年間努力目標

「早寝 早起き 朝ご飯」で
規則正しい生活を送りましょう

～季節を感じながら、「3つのあ」の運動の日常化へ～

- 春～新たな出会い、ふれあい あいさつ
- 夏～自然や人の豊かさに感謝 あとかたづけ
- 秋～実り・成長を感じて ありがとう
- 冬～寒さに負けない心と体(3つの「あ」の定着へ)

子どもたちが描く理想の学校像

「思いやりをもって仲よく過ごせる・しっかりと学ぶことができる・安全に気をつけて生活できる」学校

学校教育目標

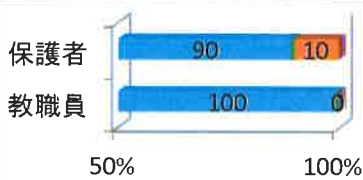
みんなで学び かたをくみあう げんきな子

心豊かで優しさのある子 **ともに** よく考えて表現できる子 **自分から** 自らやりりぬたくましい子
 広く見る目、やさしさ、思いやり **課題もち、考え合い、伝え合い** **自然や生命の力、やる気、チャレン**

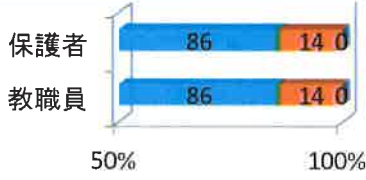
学 び

そう思う ■ どちらともいえない ■ 思わない ■ 【教職員・保護者・児童アンケートから】

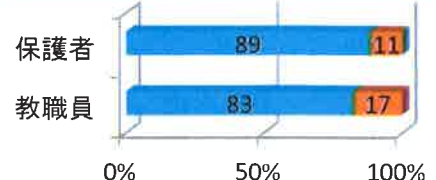
学校は各教科の基礎的・基本的な内容をしっかり身につくように教えている



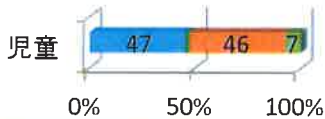
学校は子ども一人一人の個性や特性を理解している



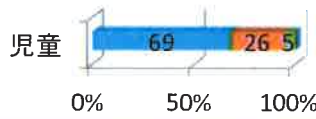
学校は子どもが思いやりやさしさなど豊かな心育てる活動(学習・行事等)を行っている



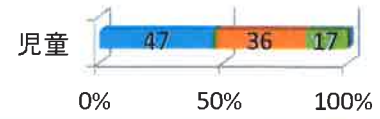
【児童の自己評価から】
自分から進んで本を読んだか



【児童の自己評価から】
家で、勉強をしたか



【児童の自己評価から】
自分の考えを書いたり相手に伝えたりしたか

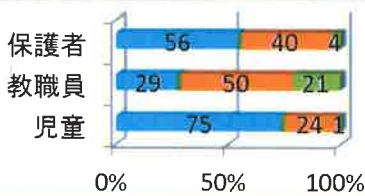


今後の方向性

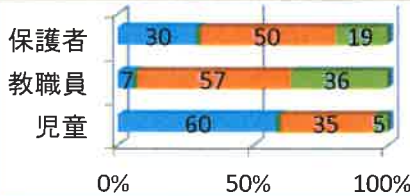
- ・基礎基本の力が身につくような復習を中心とした繰り返し指導の充実(朝の学習、まとめの時間の確保、家庭での学習習慣)
- ・しみず読書の日を含む「みかげ読書週間」の読書の取組の充実、朝の読書など、読書の日常化の取組
- ・自分の考えを相手に伝える学習の場を広げていく(スピーチ、意見交換、目的をはっきりさせて書き表す学習活動)
- ・「子どもの力を伸ばす7つの取組」の一層の具現化(学習常規の徹底、子どもの学ぶ意欲を高める授業づくり)

行 動

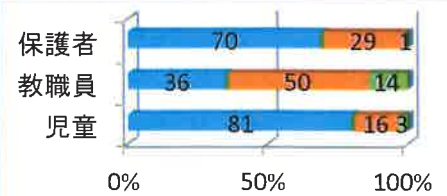
子どもは、自分からあいさつをしている



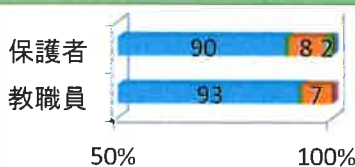
子どもは、自分からあとかたづけをしている



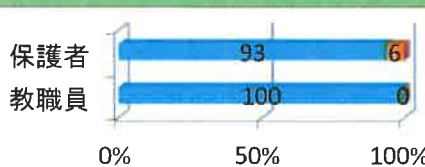
子どもは、自分からありがとうと言っている



子どもは元気に楽しく登校している



学校は子どもたちが学びやすい環境になるよう

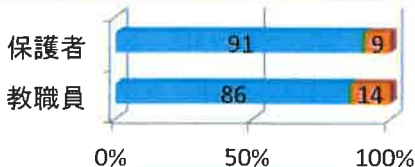


今後の方向性

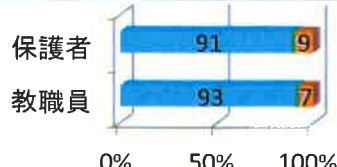
- ・社会性を養う土台となる「3つのあ」の運動の継続、保護者との一層の連携
- ・子どもの学びや行動への意欲を高める学校内外の環境整備、教室や廊下の掲示物の充実
- ・子どもが楽しく安心して過ごせる学校づくり

連 携

学校は、教育活動の取組や子どもの様子を学校便り、学級通信、参観日等で積極的に伝えている



学校は、地域の素材や人材を有効に活用しながら教育活動を行っている



今後の方向性

- ・学校便り、学級通信、寺子屋塾等の一層の内容充実による情報発信、保護者との小まめな情報交換と早期の改善
- ・新たな地域の素材や人材の発掘と活用による、地域や学校を知る活動の充実

(「しみず教育の四季」の「秋 心を染める色の中で 感性みずみずしく」を受けて)

御影小版

「教育の四季」より

秋～実り・成長を感じて



*秋を迎え、子ども達の学習での成果や心身の成長を感じることでできる時期となりました。家庭や地域の皆様のご支援も、どうかよろしくお願いします。

平成27年度「全国学力・学習状況調査」の結果について

4月に6年生を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果が、8月に文部科学省から報告されたことを受け、このほど、結果に対する分析と考察を終えましたのでお知らせします。

(1) 教科に関する調査結果から (A問題＝「主として知識」、B問題＝「主として活用」)

【国語】主な成果と課題

○A問題では平均正答率が全国平均を2.4%上回った。B問題では平均正答率が全国平均を8.7%上回った。B問題では、選択式で「見出しの表現の工夫についての説明として適切なものを選択する」設問の正答率が全国平均よりも高く、記述式で「文章の要旨をまとめて書く」設問の正答率が高く、全国平均よりも12%高い数値となっていた。
●課題が見られる点は、「文の主語として適切なものを選択する」「インタビューの様子の内容をまとめて書く」文章に慣れ親しむための読書活動の充実と、代表的な表現方法や言葉について繰り返し指導を継続していく。

【算数】主な成果と課題

○A問題では平均正答率が全国平均を2.8%上回った。A問題の計算の基礎的な問題では、全員正解の問題も含め正答率が全国平均を上回った。B問題の「示された図において、分割された二つの図形の面積が等しくなるわけを書く」設問では、正答率が高かった。
●課題が見られる点は、A問題の「分度器の目盛りを読み、180°より大きい角の大きさを求める」B問題の「二組の道のりが、それぞれ等しくなることを書く」設問の具体的な場面や状態を十分に把握することができるよう力を育成できるように指導を継続していく。

【理科】主な成果と課題

○平均正答率は全校平均を0.9%上回った。評価の観点ごとでは、特に「自然事象についての知識・理解」の正答率が高かった。
●「顕微鏡の適切な操作方法を選ぶ」設問や「方位についての情報から、観察している方位を選ぶ」設問の正答率が全国平均よりも低く、具体的な体験的活動を通して、さらに「観察・実験の技能」を高める指導を継続していく。

(2) 児童質問紙(学習状況)調査結果から (特徴的傾向のみ)

- ・全道や全国に比べ、「規範意識」や「自尊感情」は高い傾向がみられた。「生活習慣」については、やや関心が弱い傾向がみられた。
- ・教科に対する関心では、おおむね全教科に高い傾向がみられた。

(3) 考察

今後も子ども達が確かな学力を身に付けることができるよう、さらに応用力を高める授業へと改善を図ります。また、昨年度の教育実践が今年度の調査結果の成果として現れていることから、今後も分かる授業・楽しい授業の実践に努めます。そして、学習習慣や基本的な生活習慣のさらなる定着のためにも、学校全体として家庭や地域の人々と連携しながら努力していきます。